

学術・調査委員会 令和5年度上半期活動報告

2023年9月30日

担当理事：木下義晶、高橋義行

委員長：古賀友紀 副委員長：高間勇一

委員：勝見良樹、五味玲、古賀友紀、磯田健志、成田敦、日野もえ子、福島紘子、岩田慎太郎

オブザーバー：田尻達郎、笹原洋二、加藤実穂

活動報告と予定

1) 症例登録事業

2) 疾患登録年次報告体制の整備

2023年5月31日締め切りにて学会疾患登録を行った。

学会あるいは学会ホームページで公開する予定。

今後、登録項目に基づいた解析について血液腫瘍・非腫瘍性疾患、および固形腫瘍のWGにて検討を進める。

3) 症例登録事業の倫理審査体制の管理

施設倫理審査および中央一括倫理審査の管理を継続した。

Ver5として理事会で承認されたものを九大（理事長所属施設）で倫理審査にかけて一括審査の方向。

4) 関連班研究との連携

班研究としての連携は現時点でなし。

5) 疾患登録データ利用申請への対応

2022～2023年審議案件について承認した。

「本邦における乳児期発症急性リンパ性白血病の発症実態、臨床試験登録状況、および予後に関する検討」

「JPLSG 中央病理診断で非腫瘍性病変もしくはリンパ増殖性疾患と診断された症例の後方視的調査」

今後は研究審査委員会とも連携をはかりながら円滑にデータ利用についての承認をすすめられるようにすることを確認した。

文責：古賀友紀